

会計名			児童遊園管理事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
3	2	1					作成者	三浦 孝則		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		児童遊園内の施設の維持管理作業を行い、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。			主たる内容	全39箇所の児童遊園の樹木の剪定、清掃、便槽保守管理業務を行う。			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第7次刈谷市総合計画				
	事業期間		不明～		根拠法令	児童福祉法、刈谷市児童遊園条例				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	市内の児童遊園等を2区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の児童遊園等を2区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の児童遊園等を2区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の児童遊園等を2区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施			
	成果 (できたこと)		児童遊園等の維持管理を年間委託で行い、良好な状態を維持した。							
	課題 (できなかったこと)		地域住民からの要望等により、需用費及び管理委託料が増加傾向にある。公園等愛護会により管理される児童遊園が増えることで経費の削減につながるため、愛護会制度の促進が望まれる。							
	指標名称				実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	公園や緑地が充実していると思う市民の割合				-	-	69.3%	71.44%	75.72%	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				22,570	26,069	8 報償費	1,426,000 円		
	事業費		22,534	21,258	20,758	23,785	11 需用費	1,393,770 円		
	特定財源			0	0	10	12 役務費	44,490 円		
	一般財源			21,258	20,758	23,775	13 委託料	17,761,821 円		
	職員人件費				1,812	2,284	14 使用料及び賃借料	98,794 円		
建設 事業	全体事業費					備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									
						16 原材料費	33,546 円			
						合計	20,758,421 円			

会計名			児童遊園補修事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
3	2	1					作成者	三浦 孝則		
P L A A N	事業概要	分野	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善							
		第7次総合計画 基本施策 施策の内容								
		目的	全39箇所の児童遊園の利用者の安全性を確保し、快適性の向上を図る。				主たる内容	必要に応じて、児童遊園内の施設全般（遊具、フェンスなど）の補修を行う。		
		対象者	市民							
B D O	事業実績	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
		事業期間	不明～	根拠法令	児童福祉法、刈谷市児童遊園条例					
		20年度実績	21年度実績		22年度実績		23年度計画			
		老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修	老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修	老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修 蒲生池遊園内灯補修 井ヶ谷児童遊園防球ネット補修他	老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修 丸田児童遊園遊具補修 吹戸緑地園路補修他					
	成果 (できたこと)	児童遊園施設の修繕を実施し、利用者の安全性、快適性を向上した。								
	課題 (できなかったこと)	施設の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にある。								
		指標名称	実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
		公園や緑地が充実していると思う市民の割合	-	-	69.3%	71.44%	75.72%			
		他市との比較検証								
C	事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
		単位：千円			4,327	4,142	11 需用費	885,150 円		
		事業費	2,823	2,787	2,515	3,000	15 工事請負費	1,629,600 円		
		特定財源		0	0	0	合計	2,514,750 円		
		一般財源		2,787	2,515	3,000				
		職員人件費			1,812	1,142				
	建設事業	全体事業費			備考（補助名称等）					
		22年度迄の累積事業費								
		24年度以降の事業費見込								

会計名			児童遊園剪定枝リサイクル事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
3	2	1					作成者	三浦 孝則		
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑地・緑道の整備			主たる内容	全39箇所の児童遊園で発生した剪定枝等を、焼却処分ではなく環境に配慮し、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理を行う。 予定数量 22 t			
	目的	児童遊園の剪定枝等の処理について、リサイクル処理を行い環境への配慮を図る。								
	対象者	事業者								
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画						
	事業期間	H20～		根拠法令						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	剪定枝リサイクル処理実績 15.32トン		剪定枝リサイクル処理実績 17.32トン		剪定枝リサイクル処理実績 21.96トン		剪定枝リサイクル処理計画 21トン			
	成果 (できたこと)	焼却処理していた剪定枝を、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理によりCO2の発生を抑え、環境面で一定の効果をj得ている。								
	課題 (できなかつたこと)	リサイクル処理した剪定枝の利用について、市が実施する事業における利用を推進していく必要がある。								
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				777	812	12 役務費	415,044 円		
	事業費		290	327	415	431	合計	415,044 円		
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			327	415	431				
	職員人件費				362	381				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			児童遊園整備事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
3	2	1					作成者	三浦 孝則	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善					
	目的		児童遊園施設の安全性と、来園者の利便性の向上を図る。			主たる内容	児童遊園の老朽化した施設を改修するとともに、新規施設を設置することにより、児童遊園の安全性と利便性を高める。		
	対象者		市民						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画				
	事業期間		不明～		根拠法令	児童福祉法、刈谷市児童遊園条例			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	老朽化した児童遊園施設の改修や、新規施設の設置		老朽化した児童遊園施設の改修や、新規施設の設置		老朽化した児童遊園施設の改修や、新規施設の設置 さかえ遊園防球ネット設置 後口児童遊園フェンス取替他		老朽化した児童遊園施設の改修や、新規施設の設置 御幸児童遊園防球ネット設置 昭山児童遊園防球ネット改修他		
	成果 (できたこと)		児童遊園施設の改修及び新規施設を設置し、利用者の安全性、快適性を向上した。						
	課題 (できなかったこと)		施設の老朽化と、要望の多様化にともない、工事費が増加傾向にある。						
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	公園や緑地が充実していると思う市民の割合			-	-	69.3%	71.44%	75.72%	
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				7,005	5,142	15 工事請負費 4,830,000 円		
	事業費			2,268	4,830	4,000	合計 4,830,000 円		
	財源			0	0	0			
	一般財源			2,268	4,830	4,000			
	職員人件費				2,175	1,142			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			街路樹街園管理事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 3	担当課 公園緑地課	
							課等長名 栗田 全雄	
							作成者 三浦 孝則	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑地・緑道の整備				
	目的		街路樹、街園の清掃及び除草、剪定等の管理を行い、都市景観の維持を図る。		主たる内容		市内87路線の街路樹、街園等66箇所の樹木の管理 街路樹、街園の清掃、除草、剪定、その他管理業務	
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画		
	事業期間		不明～		根拠法令	道路法		
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	市内の街路樹、街園を4区域に分け、維持管理を年間管理委託にて実施		市内の街路樹、街園を4区域に分け、維持管理を年間管理委託にて実施		市内の街路樹、街園を4区域に分け、維持管理を年間管理委託にて実施		市内の街路樹、街園を4区域に分け、維持管理を年間管理委託にて実施	
	成果 (できたこと)		樹木の剪定や草刈を行い、良好な街路樹等の管理を実施した。					
	課題 (できなかったこと)		道路新設に伴う街路樹の増加と、既存樹木の成長に伴い、管理委託料が増加傾向にある。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	緑や自然を身近に感じることができると思う市民			-	-	65.7%	66.0%	66.2%
	他市との比較検証							
	C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
		単位：千円				82,349	91,162	13 委託料
事業費		79,923	85,898	80,537	88,117	合計	80,536,890 円	
特定財源			0	0	0			
一般財源			85,898	80,537	88,117			
職員人件費				1,812	3,045			
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費						
		24年度以降の事業費見込						

会計名			街路樹街園補修事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	3					作成者	三浦 孝則	
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑地・緑道の整備						
	目的	市内87路線の街路樹、街園等66箇所の樹木の植替えを行い、都市景観の維持と、快適な空間の形成を図る。				主たる内容	街路樹及び街園の樹木の植替え		
	対象者	市民							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画				
	事業期間	不明～	根拠法令	道路法					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	市道01-35号線他の街路樹等の補修		市道01-36号線他の街路樹等の補修		市道01-2号線他の街路樹等の補修		市道1-983号線他の街路樹等の補修		
	成果 (できたこと)	枯損街路樹の補植や植替えを行い、良好な街路樹を維持した。							
	課題 (できなかったこと)	街路樹等の老木化と、樹木の生育過多が進むことにより、工事費が増加傾向にある。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	緑や自然を身近に感じることができると思う市民			-	-	65.7%	66.0%	66.2%	
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			8,532	8,903	15 工事請負費 6,720,000 円			
	事業費	9,482	5,778	6,720	7,000	合計 6,720,000 円			
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		5,778	6,720	7,000				
	職員人件費			1,812	1,903				
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			街路樹剪定枝リサイクル事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	3	作成者	三浦 孝則						
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑地・緑道の整備						
	目的		街路樹の剪定枝等の処理について、リサイクル処理を行い環境への配慮を図る。			主たる内容	市内87路線の街路樹で発生した剪定枝等を、焼却処分ではなく環境に配慮し、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理を行う。 予定数量 300 t			
	対象者		事業者							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		H20～	根拠法令							
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	剪定枝リサイクル処理実績 214.02トン		剪定枝リサイクル処理実績 262.62トン		剪定枝リサイクル処理実績 241.60トン		剪定枝リサイクル処理計画 250トン			
	成果 (できたこと)		焼却処理していた剪定枝を、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理によりCO2の発生を抑え、環境面で一定の効果をj得ている。							
	課題 (できなかつたこと)		リサイクル処理した剪定枝の利用について、市が実施する事業における利用を推進していく必要がある。							
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
他市との比較検証			豊田市、安城市、碧南市等で類似の事業を実施している。							
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				4,928	5,506	12 役務費	4,566,240 円		
	事業費		4,045	4,964	4,566	5,125	合計	4,566,240 円		
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			4,964	4,566	5,125				
	職員人件費				362	381				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名 一般会計			緑の基本計画策定事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 5	担当課 公園緑地課	
						課等長名 栗田 全雄		
						作成者 清水 雅之		
P A L A N 事業概要	第7次総合計画	分野 都市環境 公園緑地・緑化 自然環境の保全と再生						
	目的	前計画の策定から10年以上が経過しており、緑の減少などの社会情勢の変化によって生じる新たな環境問題への対策、法改正による新しい制度への対応が必要となってきたことから、緑の基本計画を改訂し、既存する緑の保全活用、市街地における緑の増進、全市域にわたる緑のネットワーク形成等を図る。				主たる内容	○市内の緑の現況調査の実施 ○目標達成のための具体的な施策内容の検討 ○緑化重点地区を設定 ○計画書策定	
	対象者	市民、事業者、行政						
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第3次都市計画マスタープラン			
	事業期間	H20～H22	根拠法令	都市緑地法				
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・業務支援業者選定		・関連計画等の整理 ・緑の現況調査 ・市民・事業者アンケート実施 ・住民協議会の開催		・緑の目標設定 ・具体的な施策内容の検討 ・緑化重点地区の設定 ・計画書等の作成		_____	
	成果 (できたこと)	市内の緑の現状を把握し、緑の課題を抽出することができた。目指すべき緑の将来像を設定し、将来像の実現に向けた数値による目標設定を行い、その目標達成のための具体的な施策の検討を行った。						
	課題 (できなかったこと)	市民・事業者アンケートや住民協議会での意見からも、緑に対する関心の高さをうかがう事ができたが、補助金など活動に対する支援制度の確立が求められている。						
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	緑や自然を身近に感じるとする市民の割合			-	-	65.7%	66.0%	66.5%
	市民一人当たりの公園面積			8.52㎡	8.52㎡	8.52㎡	8.57㎡	8.67㎡
	他市との比較検証		本市の市民1人当たりの公園面積は8.52㎡で、県平均の7.16㎡や西三河6市では最も高い値である。					
	C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
単位：千円				9,642		13 委託料 4,567,500 円		
事業費			4,935	4,568		合計 4,567,500 円		
特定財源			0	0				
一般財源			4,935	4,568				
職員人件費				5,074				
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費						
		24年度以降の事業費見込						

会計名			指定管理者選定事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	5	作成者	渡邊 隆寛					
PLAN	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的	洲原公園レクリエーション施設の指定管理者の更新に伴い、新たな指定管理者を選定し、住民サービスの向上・行政コストの削減を図る。			主たる内容	選定のために選定委員会を設置し、内容の審査、ヒアリング等を実施し、公正かつ公平に最も適した団体を指定管理者の候補として決定する。			
	対象者	市民、事業者							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	H22～H22	根拠法令	地方自治法、刈谷市指定管理者選定委員会設置要綱					
BDO	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項の配布 5月17日～6月16日 ・募集説明会 5月26日(水) ・申請書締切 6月16日(水) ・第1回選定委員会(書類審査) 7月2日(金) ・第2回選定委員会(面接審) 				
	成果 (できたこと)	審査の結果、㈱愛知スイミングに決定した。							
	課題 (できなかったこと)	申請者が1者だったため、選定委員会時に比較が困難であった。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
他市との比較検証									
C	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			3,459	4,292				
	事業費			197	485	8 報償費	76,800 円		
	特定財源			0	0	13 委託料	120,000 円		
	一般財源			197	485	合計	196,800 円		
	職員人件費			3,262	3,807				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			公園台帳作成事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4		目 5	担当課 公園緑地課		
						課等長名 栗田 全雄		
						作成者 三浦 孝則		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善				
	目的		公園施設の現況把握を行うことにより、事務処理の迅速化を図る。		主たる内容	公園施設を適正に管理するため、公園台帳図データと台帳調査データを一元管理できるシステムを作成する。(計画準備、公園台帳データ作成、システム構築)・緊急雇用創出事業として実施する。		
	対象者		市職員					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画			
	事業期間		H22～H22	根拠法令	都市公園法、児童福祉法			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績			
					公園等185箇所の施設調査と台帳データ作成、図面の作成、庁内GIS内での一元管理			
	成果 (できたこと)		庁内GISに搭載したことにより職員間でデータの共有化が計られ、迅速なデータ検索や閲覧が可能となった。緊急雇用創出事業により緊急雇用の創出を図ることができた。					
	課題 (できなかったこと)		新規に管理する公園等が開設等された場合には、追加でデータ整備や図面作成等の業務が必要となる。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
公園台帳作成			-	-	100%	-	-	
他市との比較検証			知立市も同事業を利用して、公園台帳を作成した。					
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				13,679		13 委託料 12,591,600 円	
	事業費				12,592		合計 12,591,600 円	
	特定財源				12,592			
	一般財源				0			
	職員人件費				1,087			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			公園管理事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	三浦 孝則		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		公園内の施設の維持管理作業を行い、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。			主たる内容	全102箇所の公園の樹木の剪定、清掃、便槽保守管理業務を行う。			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間		不明～	根拠法令	都市公園法、刈谷市都市公園条例					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	市内の公園等を13区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の公園等を13区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の公園等を13区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施		市内の公園等を13区域に分け、樹木の剪定、草刈、清掃、便所管理、巡視を年間管理委託にて実施			
	成果 (できたこと)		公園等の維持管理を年間委託で行い、良好な状態を維持した。							
	課題 (できなかったこと)		公園数の増加や地域住民からの要望等により、需用費及び管理委託料が増加傾向にある。公園等愛護会により管理される公園が増えることで経費の削減につながるため、愛護会制度の促進が望まれる。							
	指標名称				実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
公園や緑地が充実していると思う市民の割合				-	-	69.3%	71.44%	75.72%		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				289,682	301,808	8 報償費	6,104,000 円		
	事業費		300,205	293,286	286,420	298,001	11 需用費	22,608,627 円		
	特定財源			10,110	7,644	5,819	12 役務費	881,669 円		
	一般財源			283,176	278,776	292,182	13 委託料	253,874,021 円		
職員人件費				3,262	3,807	14 使用料及び賃借料	2,001,588 円			
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		16 原材料費	924,115 円			
		22年度迄の累積事業費				27 公課費	26,400 円			
		24年度以降の事業費見込				合計	286,420,420 円			

会計名			公園補修事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	5	作成者	三浦 孝則					
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善			主たる内容	必要に応じて、公園内の施設全般（遊具、フェンスなど）の補修を行う。		
	目的	全102箇所の公園の利用者の安全性を確保し、快適性の向上を図る。							
	対象者	市民							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～	根拠法令	都市公園法、刈谷市都市公園条例					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 原崎公園園内灯補修 総合運動公園園路補修 八枚公園側溝補修等		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 洲原公園駐車場止め補修 ふたば公園フラコ補修 中手公園法面補修他		
	成果 (できたこと)	公園施設の修繕を実施し、利用者の安全性、快適性を向上した。							
	課題 (できなかったこと)	施設の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にある。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
	公園や緑地が充実していると思う市民の割合			-	-	69.3%	71.44%	75.72%	
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				22,486	22,284	11 需用費	7,997,717 円	
	事業費		14,523	19,929	19,949	20,000	15 工事請負費	11,951,100 円	
	特定財源			0	0	0	合計	19,948,817 円	
	一般財源			19,929	19,949	20,000			
	職員人件費				2,537	2,284			
建設事業	全体事業費				備考（補助名称等）				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			洲原公園レクリエーション施設管理運営事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	犬塚 明美		
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		民間活力を導入し、指定管理者として洲原公園レクリエーション施設の管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者へのサービスの向上を図る。				主たる内容 温水プール、ロッジ、テニスコート・クラブハウス、デイキャンプ施設を民間公募により選定された業者により管理運営を行う。			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		H17～		根拠法令	地方自治法					
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	プール利用者 61,381人 ロッジ利用者4,582人 テニスコート利用者 20,302人		プール利用者 68,690人 ロッジ利用者 4,029人 テニスコート利用者 21,928人		プール利用者 65,712人 ロッジ利用者 4,051人 テニスコート利用者 22,196人		プール利用者 68,000人 ロッジ利用者 4,200人 テニスコート利用者23,000人を見込			
	成果 (できたこと)		平成23年度指定管理契約更新平成17年～平成21年の4年間で約1億円の経費の削減を図ることができ、民間のノウハウを生かした運営ができた。							
	課題 (できなかったこと)		施設がオープンして20年以上経過しており、老朽化が著しく施設全体の改修等が必要になってきている。							
	指標名称		実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				77,043	77,897				
	事業費		70,401	74,858	74,868	74,471	11 需用費	2,126,250 円		
	特定財源			19,225	17,881	19,554	12 役務費	39,273 円		
	一般財源			55,633	56,987	54,917	13 委託料	72,503,360 円		
	職員人件費				2,175	3,426	15 工事請負費	199,500 円		
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		合計 74,868,383 円				
		22年度迄の累積事業費								
		24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			岩ヶ池公園管理運営事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 5	担当課 公園緑地課	
							課等長名 栗田 全雄	
							作成者 奥村 圭太	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善				
	目的		民間活力を導入し指定管理者として岩ヶ池公園の管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者サービスの向上を図る。		主たる内容		指定管理者制度を導入し、岩ヶ池公園の管理運営全般を行う。岩ヶ池公園を民間公募により選定された業者により、管理運営を行う。	
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画			
事業期間		H16～		根拠法令	地方自治法			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	刈谷ハイウェイオアシス来場者数 787.4万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 830.2万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 819.8万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 800万人	
	成果 (できたこと)		平成20年～平成22年の3年間で約4000万円の経費の削減を図ることができ、民間のノウハウを生かした運営ができた。					
	課題 (できなかったこと)		来客数に対して駐車場が不足しており、改善が求められる。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
他市との比較検証								
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				90,867	93,048	11 需用費 5,987,100 円 12 役務費 59,723 円 13 委託料 80,832,800 円	
	事業費		83,262	91,602	86,880	87,719	合計 86,879,623 円	
	特定財源			12,012	11,207	11,213		
	一般財源			79,590	75,673	76,506		
	職員人件費				3,987	5,329		
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			フローラルガーデンよさみ管理運営事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	霜山 広大		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		民間活力を導入し、指定管理者（アイシン開発株式会社）としてフローラルガーデンよさみの管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者へのサービスの向上を図る。			主たる内容	指定管理制度を導入し、フローラルガーデンよさみの管理運営全般を行う。フローラルガーデンよさみを民間公募により選定された業者により管理運営を行う。			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		H19～		根拠法令	地方自治法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	フローラルガーデンよさみ来場者数 108,021人 (飲食店、記念館、ミニSLの利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 96,443人 (飲食店、記念館、ミニSLの利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 82,897人 (飲食店、記念館、ミニSLの利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 85,000人 (飲食店、記念館、ミニSLの利用者数)			
	成果 (できたこと)		平成20年～平成22年の3年間で約600万円の経費の削減を図ることができ、民間のノウハウを生かした運営ができた。							
	課題 (できなかったこと)		来場者数が減少傾向にあることから、今後、来場者数を増加させるための工夫が必要である。							
	指標名称				実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				45,777	46,312	11 需用費	961,226 円		
	事業費		42,545	42,640	43,602	43,647	12 役務費	22,275 円		
	特定財源			850	1,034	1,187	13 委託料	42,618,000 円		
	一般財源			41,790	42,568	42,460	合計	43,601,501 円		
	職員人件費				2,175	2,665				
建設事業	全体事業費				備考（補助名称等）					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			公園剪定枝リサイクル事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	5					作成者	三浦 孝則	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善					
	目的	公園内の剪定枝等の処理について、リサイクル処理を行い環境への配慮を図る。			主たる内容	全102箇所の公園で発生した剪定枝等を、焼却処分ではなく環境に配慮し、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理を行う。 予定数量 375 t			
	対象者	事業者							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間	H20～		根拠法令						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	剪定枝リサイクル処理実績 265.23トン		剪定枝リサイクル処理実績 390.33トン		剪定枝リサイクル処理実績 304.86トン		剪定枝リサイクル処理計画 375トン		
	成果 (できたこと)	焼却処理していた剪定枝を、堆肥化、チップ化といったリサイクル処理によりCO2の発生を抑え、環境面で一定の効果をj得ている。							
	課題 (できなかつたこと)	リサイクル処理した剪定枝の利用について、市が実施する事業における利用を推進していく必要がある。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				6,124	7,881	12 役務費	5,761,854 円	
	事業費		5,013	7,493	5,762	7,500	合計	5,761,854 円	
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			7,493	5,762	7,500			
	職員人件費				362	381			
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			公園施設設置事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 5	担当課 公園緑地課	
						課等長名 栗田 全雄		
						作成者 三浦 孝則		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善				
	目的		市民に親しまれ、憩いの場となる公園とするため、公園内の施設の充実を図る。		主たる内容	公園内の老朽化した施設の改修をするともに、新規施設を設置する。		
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画			
事業期間		不明～		根拠法令	都市公園法			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	老朽化した公園施設の改修や、新規施設の設置		老朽化した公園施設の改修や、新規施設の設置		老朽化した公園施設の改修や、新規施設の設置 金山広場駐車場整備 神田公園テニスコート改修 総合運動公園東屋設置他		老朽化した公園施設の改修や、新規施設の設置 洲原公園パークキュー場テーブル改修 富士塚公園広場改修 竜ヶ根池北広場防球ネット設置他	
	成果 (できたこと)		公園施設の改修及び新規施設を設置し、利用者の安全性、利便性を向上した。					
	課題 (できなかったこと)		公園施設の老朽化と、地区からの要望が多く、工事費が増加傾向にある。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
公園や緑地が充実していると思う市民の割合			-	-	69.3%	71.44%	75.72%	
他市との比較検証								
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				48,032	39,136	15 工事請負費	44,407,650 円
	事業費		52,666	75,147	44,408	30,000	合計	44,407,650 円
	特定財源			0	0	0		
	一般財源			75,147	44,408	30,000		
	職員人件費				3,624	9,136		
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			都市公園施設更新事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	三浦 孝則		
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善			主たる内容	国の都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用し、施設の更新を行う。同じく国の都市公園等統合補助事業を活用し、刈谷市公園施設長寿命化計画を策定する。			
	目的	専門業者による定期点検の判定結果に基づき、要改修と判断された公園施設について施設の更新を行うと共に、ライフサイクルコストを考慮し計画的に公園施設の管理を行う。								
	対象者	市民								
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画					
	事業期間	H22～H25		根拠法令	都市公園法					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	――		――		八幡公園、高倉公園、富士見公園、松栄公園の遊戯施設更新 刈谷市公園施設長寿命化計画策定業務委託(街区72公園施設調査、街区72公園維持管理方針の決定)		富士塚公園、藤池公園、よし池公園、清池公園、石仏公園の遊戯施設更新 刈谷市公園施設長寿命化計画策定業務委託(近隣5公園・総合1公園施設調査、近隣5公園・総合1公園維持管理方針の決定)			
	成果 (できたこと)	八幡公園他3公園の遊具更新を実施した。 街区72公園の施設調査及び維持管理方針の決定をし、刈谷市公園施設長寿命化計画の策定に向け調査を実施した。								
	課題 (できなかったこと)	安全・安心な公園利用として遊戯施設のみ更新を行ったが、長寿命化計画策定後は、公園内のその他の施設についても改築・更新することが求められる。								
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
	遊戯施設の更新			――	――	4.0%	9.0%	19%		
長寿命化計画の策定			――	――	29.0%	76.0%	100%			
他市との比較検証			近隣市(知立市、安城市など)においても、公園施設長寿命化計画を策定し、公園管理を進めていく状況である。 知立市は平成22年度に策定し、安城市は平成24年度以降に策定予定である。							
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				46,238	51,807	13 委託料	4,200,000 円		
	事業費				41,889	48,000	15 工事請負費	37,688,700 円		
	特定財源				18,000	24,000	合計	41,888,700 円		
	一般財源				23,889	24,000				
	職員人件費				4,349	3,807				
建設事業	全体事業費		175,000		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費		43,000		都市公園等統合補助事業(国)					
	24年度以降の事業費見込		84,000		都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(国)					

会計名			亀城公園整備費				担当部	都市整備部		
一般会計			亀城公園整備事業				担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	清水 雅之		
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		老朽化の激しい亀城公園の施設について、再整備を行い、刈谷市の歴史文化に触れることのできる城址公園的な総合公園として整備する。			主たる内容	○発掘調査のための調査委託料 面的調査 ○施設整備工事費 桜の更新工事 踏圧防止柵設置 既設構造物の撤去			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次 緑の基本計画				
	事業期間		H20～H29		根拠法令	都市公園法				
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	・亀城公園再整備基本計画の策定		・亀城公園調査測量委託 現況測量 第一工区 実施設計 樹木医調査 第二工区 発掘調査		・第一工区 公園再整備工事 既存施設撤去 桜の植え替え 土壌改良 既存樹木伐採・抜根 ・第二工区 公園調査委託 発掘調査		・第一工区 公園再整備工事 桜の植え替え 土壌改良 トイレ設置 ・第二工区 歴史的建造物基本計画 既存資料調査			
	成果 (できたこと)		市内で最も古い亀城公園を、再整備計画により、桜の名所としての整備をするとともに、城址公園的な整備をするための基礎調査として、発掘調査を行った。							
	課題 (できなかったこと)		城址公園的な整備のための資料収集							
	指標名称		実績値			目標値				
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
桜まつりの来場者数		116,160人	66,950人	68,900人	69,000人	70,000人				
公園や緑地が充実していると思う市民の割合		-	-	69.3%	70.4%	72.7%				
他市との比較検証		西尾市では隅櫓の復元を行い、現在も引き続き発掘調査を行って天守閣の復元を手がけている。岡崎市では、岡崎公園内に隅櫓を休憩施設として復元整備している。								
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				37,243	56,237	13 委託料	10,563,000 円		
	事業費		287,475	15,550	32,894	50,147	15 工事請負費	22,331,400 円		
	特定財源			0	0	0	合計	32,894,400 円		
	一般財源			15,550	32,894	50,147				
	職員人件費				4,349	6,090				
建設事業	全体事業費					備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名 一般会計			岩ヶ池公園整備費				担当部 都市整備部		
款 8			項 4			目 5		担当課 公園緑地課	
事業名 岩ヶ池公園整備事業			分野 都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善		課等長名 栗田 全雄				
					作成者 清水 雅之				
P L A A N 事業概要	目的		施設利用者の利便性、安全性の向上と施設の維持管理のため。		主たる内容	岩ヶ池公園を総合公園として整備を図るとともに、第二東名の刈谷パーキングエリアと一体的に「刈谷ハイウェイオアシス」として整備する。			
	対象者		市民						
	実施方法		一部委託	位置づけ		関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画		
	事業期間		H5～H30			根拠法令	都市公園法		
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	二期区域駐車場整備工事		・大型複合遊具下舗装工事 ・ゴーカート日除けテント設置工事		幼児用複合遊具下舗装工事		大型有料遊具設置工事		
	成果 (できたこと)		来園者数の増加による公園施設の劣化に対して、早期に対応し安全対策を図る事ができた。						
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
市民1人当たりの公園面積			8.52㎡	8.52㎡	8.52㎡	8.57㎡	8.67㎡		
公園や緑地が充実していると思う市民の割合			-	-	69.3%	71.44%	75.72%		
他市との比較検証									
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				20,578	81,971	13 委託料 2,803,500 円 15 工事請負費 12,700,800 円 合計 15,504,300 円		
	事業費		245,224	42,015	15,504	75,500			
	特定財源			42,015	0	0			
	一般財源			0	15,504	75,500			
	職員人件費				5,074	6,471			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			小道公園整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	清水 雅之		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的		刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業地内に、地域住民に安全で、健康的な生活環境、休養やレクリエーションの場として利用される街区公園として、小道公園を整備する。			主たる内容	小道公園の整備に伴い、ワークショップ方式を導入し、地域住民意向を反映した詳細設計を行う。 街区公園詳細設計 (A=0.2ha) ワークショップ (意見交換会) 4回			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次 緑の基本計画				
	事業期間		H22～H24		根拠法令	都市公園法				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	_____		_____		小道公園詳細設計業務委託 街区公園詳細設計 A=0.2ha ワークショップ 4回		_____			
	成果 (できたこと)		住民参加による公園づくりの実施のために、ワークショップを開催し、公園利用者の意見を反映させた公園計画を策定することができた。 地域住民が公園計画の策定に参加することで、その地域の公園として愛着をもってもらい、公園愛護会の立上げにも積極的に取り組んでもらえた。							
	課題 (できなかったこと)		計画策定に参加してもらい、次の段階として、公園整備にも加わってもらいたいと考えている。植栽などは子供から大人まで参加できるような行事として行いたい。							
	指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
市民1人当たりの公園面積			8.52㎡	8.52㎡	8.52㎡	8.57㎡	8.67㎡			
身近な公園・緑地の配置率			-	-	73.8%	74.0%	74.5%			
他市との比較検証			身近な公園の計画策定には住民参加が不可欠であり、近隣市においても同様の方法で計画策定を行っている。							
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				5,055		13 委託料	2,880,150 円		
	事業費				2,880		合計	2,880,150 円		
	財源	特定財源			0					
		一般財源			2,880					
	職員人件費				2,175					
建設事業	全体事業費				備考 (補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			サイクリングロード整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	5					作成者	清水 雅之		
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑地・緑道の整備			主たる内容	スポーツ・レクリエーション拠点の総合運動公園と、サブ拠点の亀城公園を結ぶ逢妻川河川敷地を有効利用したサイクリングロードを整備する。			
	目的	遊休地である河川緑地の有効利用と健康増進施設及び余暇の空間として、新たな市民サービスを提供する。								
	対象者	市民								
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次 緑の基本計画					
	事業期間	H20～		根拠法令	河川法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	サイクリングロード基本構想 総合運動公園 ～亀城公園 L=5.0km		—		サイクリングロード基本・実施設計 総合運動公園 ～日高公園 L=1.9km		サイクリングロード整備工事 総合運動公園 ～東海道新幹線 L=0.9km			
	成果 (できたこと)	河川緑地の有効利用と健康増進及び余暇の空間としてのサイクリングロードの実実施設計の作成								
	課題 (できなかったこと)	亀城公園から日高公園までの整備。関連する他工事との調整								
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
サイクリングロード整備延長			0km	0km	0km	0.9km	1.9km			
他市との比較検証		安城市では明治用水の上部などを利用して、サイクリングロードを整備している。 豊田市では、逢妻川河川敷地などを利用したサイクリングロードを整備している。								
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				7,215	34,329	13 委託料 5,040,000 円			
	事業費		2,625		5,040	29,000	合計 5,040,000 円			
	特定財源				0	0				
	一般財源				5,040	29,000				
	職員人件費				2,175	5,329				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			震災対策整備事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	5					作成者	清水 雅之	
PLAN	分野	福祉安全 防災 防災体制の充実							
	第7次総合計画	基本施策 施策の内容							
	目的	防災公園に位置づけられた公園の防災機能の向上を図る。				主たる内容	「刈谷市地域防災計画」に指定された一時避難地である防災公園に、災害時に備えて、かまどベンチ、防災用トイレを設置する。		
	対象者	市民							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画				
事業期間	H20～H27		根拠法令						
BDO	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	防災施設実施設計 原崎公園他 6公園		実績なし		狩野公園 災害用トイレ設置工 10基 かまどベンチ 1基 防災倉庫 1棟		_____		
	成果 (できたこと)								
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
防災便所の整備された公園数			2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	8箇所		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				8,968		15 工事請負費	5,728,800 円	
	事業費		473		6,431		18 備品購入費	702,240 円	
	特定財源				0		合計	6,431,040 円	
	一般財源				6,431				
	職員人件費				2,537				
建設事業	全体事業費		42,473		備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費		7,000						
	24年度以降の事業費見込								

会計名			亀城公園等整備基金積立事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	5					作成者	犬塚 明美	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 公園の整備・改善						
	目的	亀城公園等整備基金に寄附金を編入する。				主たる内容	刈谷市亀城公園等整備基金条例に基づき、寄附金等を亀城公園等整備基金に繰り入れる。		
	対象者	市民							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
事業期間	H21～		根拠法令	刈谷市亀城公園等整備基金条例					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
			14,000,000,000円積立金		寄附金1,200,000円 3月補正にて500,000,000円		寄附金と運用収入を基金に組み入れる。		
	成果 (できたこと)	寄附金等を亀城公園等整備基金に繰り入れた。1,912,000,000円(平成23年6月積立額)							
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証									
C	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			503,375	8,323	25 積立金	501,200,000 円		
	事業費			501,200	6,800	合計	501,200,000 円		
	財源 特定財源			1,200	6,800				
	一般財源			500,000	0				
	職員人件費			2,175	1,523				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			民有地緑化推進事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 6	担当課 公園緑地課	
						課等長名 栗田 全雄		
						作成者 木下 省吾		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑化の推進				
	目的		緑化推進基金の運用益を利用して、民有地緑化の補助を行い、民有地の緑化を推進する。		主たる内容		民有地で行う生垣設置及び屋上、壁面緑化に対する補助並びに指定樹木等への補助を行う。 一部、愛知県都市緑化基金補助金を利用。	
	対象者		市民、事業者					
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画		
	事業期間		H21～		根拠法令	刈谷市緑化推進補助金交付要綱、刈谷市樹木等保存要綱		
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
			生垣設置 8件 屋上緑化 1件 壁面緑化 1件 指定樹木 1,187本 指定樹林 23,300㎡	生垣設置 3件 屋上緑化 1件 壁面緑化 0件 指定樹木 1,159本 指定樹林 23,300㎡	生垣設置 14件 屋上緑化 3件 壁面緑化 2件 指定樹木 1,159本 指定樹林 23,300㎡			
	成果 (できたこと)		市内民有地で、新規に生垣設置、屋上及び壁面緑化が行われ、緑化の推進について一定の成果があった。					
	課題 (できなかったこと)		民有地の緑化をさらに推進するために、補助事業のさらなる啓発活動に努める必要がある。					
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
自宅の敷地などの緑化に努めている市民の割合			-	-	72.2%	73.6%	76.88%	
他市との比較検証		岡崎市では、本市と同様に生垣設置及び屋上、壁面緑化に対して補助を実施しており、平成21、22年度で生垣設置15件、屋上緑化5件、壁面緑化1件という実績がある。また、安城市は生垣設置に対する補助のみではあるが、平成21、22年度で16件という実績がある。						
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				4,078	6,710	19 負担金、補助及び 交付金	1,903,000 円
	事業費			2,472	1,903	4,426		
	財源			2,472	3,076	4,426		
	一般財源			0	-1,173	0		
	職員人件費				2,175	2,284		
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費		愛知県都市緑化基金補助金 (県)				
		24年度以降の事業費見込						

会計名			緑の街並み推進事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
8	4	6					作成者	木下 省吾		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑化の推進						
	目的		民有地の緑化事業及び、並木道の再生に関する事業を行い、市民の緑化意識及び市内の緑化率の向上を図る。			主たる内容	愛知県が行うあいち森と緑づくり都市緑化推進事業を活用し、民有地で行う比較的規模の大きな生垣設置及び屋上、壁面、空地緑化に対して補助を行う。また、街路樹の植替工事を行う。			
	対象者		市民、事業者							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画				
	事業期間		H21～	根拠法令	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金交付要綱他					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
			街路樹の再生 市道01-25号線		民有地の緑化 1件(壁面緑化) 街路樹の再生 市道01-25号線		民有地の緑化 2件(生垣設置、空地緑化)			
	成果 (できたこと)		民有地の緑化については、大型緑化事業の申請があり、一定の成果が得られている。また、街路樹の再生については、平成21、22年度で市道01-25号線の植替工事を実施した。							
	課題 (できなかったこと)		本事業の民有地緑化への補助対象が比較的規模の大きなものであることから、補助対象の規模が小さい民有地緑化推進事業に比べて申請、相談件数が少ない。今後、大規模な緑化を行えるような市内事業所等を中心に啓発活動を実施していく必要がある。							
	指標名称		実績値			目標値				
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
公園や緑地が充実していると思う市民の割合		-	-	69.3%	71.4%	75.72%				
自宅の敷地などの緑化に努めている市民の割合		-	-	72.2%	73.6%	76.88%				
他市との比較検証		あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を活用した緑化補助事業は、各自治体によって補助対象の事業は異なるが、都市緑化の普及啓発を主な目的として、愛知県内で平成21年度に3市、平成22年度に8市町で実施実績がある。また、並木道の再生は、愛知県内で平成21年度に8市、平成22年度に10市で実施実績がある。								
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				25,325	10,284	15 工事請負費	17,788,050 円		
	事業費				22,788	8,000	19 負担金、補助及び 交付金	5,000,000 円		
	特定財源				21,000	8,000	合計		22,788,050 円	
	一般財源				1,788	0				
	職員人件費				2,537	2,284				
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)						
		22年度迄の累積事業費		あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助金(県)						
		24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			市民植樹祭開催事業				担当部 都市整備部	
款 8			項 4			目 6	担当課 公園緑地課	
						課等長名 栗田 全雄		
						作成者 木下 省吾		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑化の推進				
	目的		市民植樹祭を開催し、市民の緑化意識の高揚と生物多様性に対する啓発を行う。		主たる内容	市民の緑化や生物多様性に対する意識の高揚を図るため、愛知県が行うあいち森と緑づくり都市緑化推進事業を活用し、COP10パートナーシップ事業として市民植樹祭を実施した。		
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市緑の基本計画		
事業期間		H22～		根拠法令	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金交付要綱			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	_____		_____		1 記念式典 開催場所：北部生涯学習センターメインホール 2 植樹 開催場所：洲原公園内南側樹林地(1,650㎡) ・記念植樹 クスノキ他 計5本 ・一般植樹 クスノキ他 計300本		_____	
	成果 (できたこと)		洲原公園南側樹林地を様々な種類の樹木を植えることで里山的に整備することができた。また、参加者の緑化及び生物多様性に対する意識の向上を図れた。					
	課題 (できなかったこと)		里山的に整備をするということは植えるだけではなく、適切な維持管理を行わなければならないため、今後適切な維持管理の実施が必要となる。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
緑や自然を身近に感じるとする市民の割合			-	-	65.7%	66.0%	66.2%	
他市との比較検証		COP10の開催に伴い、本市はじめ県内13市町村において、同様の植樹祭を実施した。						
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				6,882		13 委託料 489,562 円	
	事業費				3,258		14 使用料及び賃借料 67,200 円	
	特定財源				2,812		15 工事請負費 2,184,000 円	
	一般財源				446		16 原材料費 516,862 円	
	職員人件費				3,624		合計 3,257,624 円	
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費		あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助金(県)				
		24年度以降の事業費見込						

会計名 一般会計			松くい虫防除事業				担当部 都市整備部
款 8			項 4			目 6	担当課 公園緑地課
						課等長名 栗田 全雄	
						作成者 三浦 孝則	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 自然環境の保全と再生			
	目的		昭和57年度より公益重要林（県指定）を設定し、秋期に特別伐倒駆除を、冬期に薬剤の樹幹注入を行い、松くい虫による被害の防止を図る。		主たる内容	県の松くい虫防除事業費補助金を活用し、刈谷市北部樹林地の松くい虫の防除を行う。 伐倒駆除、薬剤樹幹注入のための駆除委託料	
	対象者		市民				
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画 第2次緑の基本計画		
	事業期間		S57～		根拠法令 森林病虫害等防除法		
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画
	地上散布、特別払倒駆除、樹幹注入		地上散布、特別払倒駆除、樹幹注入		地上散布、特別払い倒れ駆除15ha、樹幹注入8.7ha		特別払倒駆除15ha、樹幹注入8.7ha
	成果 (できたこと)		樹幹注入を行なうことにより、松枯れの防止に繋がった。				
	課題 (できなかつたこと)		市の管理する公園等内のマツは樹幹注入を行なっており、松枯れに対し一定の効果が得られるが、公園等以外の区域については行なっていないため松枯れの進行が進んでいる。県の補助金の削減が続き、市の負担割合が増えている。				
	指標名称			実績値			目標値
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
他市との比較検証			近隣市では実施しておらず、西尾市は樹幹注入を実施				
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
	単位：千円				9,129	9,903	13 委託料 6,954,150 円
	事業費		7,382	7,571	6,954	7,238	合計 6,954,150 円
	特定財源			817	3,194	1,694	
	一般財源			6,754	3,760	5,544	
	職員人件費				2,175	2,665	
建設事業	全体事業費				備考（補助名称等）		
	22年度迄の累積事業費						
	24年度以降の事業費見込						

会計名			樹勢回復事業				担当部	都市整備部			
一般会計							担当課	公園緑地課			
款	項	目					課等長名	栗田 全雄			
8	4	6	作成者	三浦 孝則							
P L A A N 概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 自然環境の保全と再生								
	目的	桜の樹勢回復治療を実施し、延命治療を行う。				主たる内容	樹勢回復研究会「数会」の手法を取り入れ、樹木の持つ自己回復能力を活用した形での、桜の木の樹勢回復を行う。治療の効果が表れるのが施工から3~5年程度必要。樹勢回復業務のための管理委託料				
	対象者	市民									
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
	事業期間	H18~		根拠法令	都市公園法						
B D O 実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画				
	樹勢回復治療の実施(洲原公園、亀城公園)		樹勢回復治療の実施(洲原公園、亀城公園)		樹勢回復治療の実施及び実績調査(洲原公園) 樹勢回復治療 4本 実績調査 3本(亀城公園) 実績調査 3本		樹勢回復治療の実績調査(洲原公園) 実績調査 3本(亀城公園) 実績調査 3本				
	成果(できたこと)	桜の樹勢回復による延命治療を実施したことにより腐朽の進行を遅らせることができ、さらに過去の欠損部も回復傾向にある。									
	課題(できなかったこと)	回復治療を行なった樹木の欠損部や劣化度により、治療効果が発現する期間が想定よりも長時間必要な箇所もある。平成18年から始めた事業で、4年がたち事業の効果が表れてくるため、その成果を今後活用させていく必要がある。									
	指標名称			実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
緑や自然を身近に感じることができると思う市民			-	-	65.7%	66.0%	66.2%				
他市との比較検証											
C 事業コスト	総事業コスト		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)	平成22年度事業費内訳				
	単位：千円				2,032	1,641	13 委託料 945,000 円				
	事業費		977	987	945	500	合計 945,000 円				
	特定財源			0	0	0					
	一般財源			987	945	500					
	職員人件費				1,087	1,141					
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費										
	24年度以降の事業費見込										

会計名			緑化推進基金積立事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
8	4	6					作成者	犬塚 明美	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	都市環境 公園緑地・緑化 緑化の推進						
	目的	刈谷市緑化推進基金条例に基づき、余剰金等を緑化推進基金に繰り入れ、市内の緑化を図る。				主たる内容	緑化推進基金に余剰金等を編入し、その運用益により、各種緑化事業の推進を図る。		
	対象者	市民							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
事業期間	H19～		根拠法令	刈谷市緑化推進基金条例第5条					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	寄附金3,300,000円と運用収入1,470,000円を繰り入れた。		寄附金10,000,000円と運用収入から事業費引いた残金1,189,565円繰り入れた。		運用収入から事業費を引いた残金2,284,486円を繰り入れた。		寄附金と運用収入から事業費を引いた残金を繰り入れる。		
	成果 (できたこと)	運用益を民有地緑化推進事業等に充て、市内の緑化に努めている。							
	課題 (できなかつたこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				4,096	1,143	25 積立金 2,284,486 円		
	事業費				2,284	1	合計 2,284,486 円		
	特定財源				1,112	1			
	一般財源				1,172	0			
	職員人件費				1,812	1,142			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			民生施設災害復旧事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					課等長名	栗田 全雄		
11	1	1	作成者	三浦 孝則						
PLAN	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	福祉安全 防災 防災体制の充実							
	目的	児童福祉施設（児童遊園）の災害復旧を行う。			主たる内容	災害復旧工事に関わる業務				
	対象者	市民								
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画						
	事業期間	不明～		根拠法令						
BDO	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	実績なし		実績なし		実績なし		計画なし			
	成果 (できたこと)	実績なし								
	課題 (できなかったこと)	実績なし								
	指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				362	2,000				
	事業費				0	2,000				
	財源	特定財源			0	0				
		一般財源			0	2,000				
	職員人件費				362	0				
建設事業	全体事業費		2,000		備考（補助名称等）					
	22年度迄の累積事業費		0							
	24年度以降の事業費見込		0							

会計名			都市計画施設災害復旧事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					課等長名	栗田 全雄	
11	3	3	作成者	三浦 孝則					
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	福祉安全 防災 防災体制の充実						
	目的	都市計画施設（公園及び街路樹）の災害復旧を行う。			主たる内容	災害復旧工事に関わる業務			
	対象者	市民							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	実績なし		フローラルガーデンよさみ災害復旧工事 他12件 3,203,130円		高須広場災害復旧工事 1,291,500円		計画なし		
	成果 (できたこと)	平成21年度は13件の災害復旧工事を行い、復旧完了した。 平成22年度は1件の災害復旧工事を行い、復旧完了した。							
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				2,379	6,142	15 工事請負費		1,291,500 円
	事業費			3,203	1,292	5,000	合計		1,291,500 円
	財源	特定財源		0	0	0			
		一般財源		3,203	1,292	5,000			
	職員人件費				1,087	1,142			
建設事業	全体事業費		9,495		備考（補助名称等）				
	22年度迄の累積事業費		4,495						
	24年度以降の事業費見込		0						